

# 令和4年度 須賀川創英館高校学校評価アンケート結果

## 1 アンケートの目的

- (1) ご家庭での子ども達の様子や現在の学校教育、教職員についての現状を評価する。
- (2) 生徒や保護者の意見を参考にして、今後の学校教育の計画、諸活動に生かす。

## 2 対象・回答数等

対象	回答率	評価時期
教職員	100%	令和4年11月1日～11月8日
生徒	95%	令和4年10月24日～11月10日
保護者	60%	令和4年10月24日～10月31日

## 3 質問事項・評価方法

### (1) 項目数

教職員 13 項目 生徒 17 項目 保護者 14 項目

### (2) 評価方法

プラスの評価 : 「よく当てはまる」 + 「やや当てはまる」

マイナスの評価 : 「あまり当てはまらない」 + 「全く当てはまらない」

## 4 アンケートの結果について (概要)

プラスの評価が90%以上の項目数は、教職員は13項目中11項目、生徒は17項目中11項目、保護者は14項目中6項目でした。

プラスの評価の中で最も高かったのは、教職員は「自分は、わかりやすい授業を実践し、丁寧に指導している」(100%)、生徒は「自分は、授業の開始時刻には遅れずに着席している」「自分は、あいさつ・礼儀・服装・言葉遣いなどのマナーを身につけている」「本校は、部活動が盛んである」(各98%)、保護者は「お子様にあいさつ・礼儀・服装・言葉遣いなどのマナーが身につくよう、親として指導している」(97%)でした。

マイナスの評価の中で最も高かったのは、教職員は「本校は、教育活動について、ホームページやメール、学年便りなどで家庭に情報発信を積極的に行っている」(25%)、生徒は「自分は、家庭学習によく取り組んでいる」(45%)、保護者は「お子様が家庭学習によく取り組むよう、親としてアドバイスしている」(37%)でした。

全体的には高い評価が多かったですが、情報発信については、保護者や地域の方々に本校の教育活動を理解してもらうためにも、ホームページ等を利用した速やかな発信が求められます。また、いじめ防止の取り組みや生徒の悩みに対する相談については、約30%の保護者がマイナスの評価を回答しており、きめ細やかな対応が求められます。

## 5 集計結果

令和4年度須賀創英館川高校 学校評価調査結果 一教職員一							
重点事項	No.	評価項目	プラスの評価	4	3	2	1
				よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
I 学ぶ意欲の向上	1	自分は、チャイムではじまる授業ができています。	91%	44%	47%	7%	2%
	2	自分は、生徒の興味や関心がわくように授業を工夫している。	100%	36%	64%	0%	0%
	3	自分は、分かりやすい授業を実践し、丁寧に指導している。	100%	44%	56%	0%	0%
	4	2 保護者との連携・協力 本校は、教育活動について、ホームページやメール、学年便りなどで家庭に情報発信を積極的に行っている。	75%	24%	51%	20%	5%
	5	3 個別の学習指導課外等の充実 本校は、学習に対する個別指導や課外が充実している。	85%	31%	55%	15%	0%
II 生徒指導の充実	6	1 自己指導能力の育成 本校は、生徒に生活の規律を守る態度を育てようとしている。	98%	56%	42%	2%	0%
	7	本校は、生徒にあいさつ・礼儀・服装・言葉遣いなどのマナーが身につくよう指導している。	98%	55%	44%	2%	0%
	8	2 健康教育・安全教育の推進 本校は、いじめ防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている。	96%	55%	42%	4%	0%
	9	本校は、生徒の悩みに対して、適切に相談に応じている。	96%	56%	40%	4%	0%
	10	3 進路意識の高揚と進路希望実現 本校は、進路について考えるための取り組みを積極的に行っている。	96%	49%	47%	4%	0%
III 各種活動の活性化	11	1 部活動の奨励 本校は、部活動が活発に行われている。	96%	47%	49%	4%	0%
	12	2 生徒会活動の活性化 本校は、生徒会活動（あいさつ運動、体育祭、文化祭など）が活発に行われている。	96%	58%	38%	4%	0%
IV 地域との連携推進	13	2 地域行事等への参加・協力 本校は、地域や関連機関と連携した教育活動が展開されている。	96%	65%	31%	4%	0%

令和4年度須賀創英館川高校 学校評価調査結果 一生徒一

重点事項	No.	評価項目	プラスの評価	4	3	2	1
				よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
I 学ぶ意欲の向上	1	自分は、授業の開始時刻には遅れずに着席している。	98%	86%	13%	1%	1%
	2	先生の授業は、生徒の興味や関心がわくように工夫されている。	89%	31%	58%	10%	1%
	3	先生は、分かりやすい授業を実践し、丁寧に指導してくれる。	94%	40%	54%	5%	1%
	4	2 保護者との連携・協力 本校は、教育活動について、ホームページやメール、学年便りなどで家庭に情報発信を積極的に行っている。	91%	39%	51%	8%	2%
	5	3 個別の学習指導課外等の充実 本校は、学習に対する個別指導や課外が充実している。	89%	38%	51%	9%	1%
	6	自分は、家庭学習によく取り組んでいる。	54%	14%	40%	34%	11%
II 生徒指導の充実	7	1 自己指導能力の育成 本校は、生徒に生活の規律を守る態度を育てようとしている。	94%	56%	38%	5%	2%
	8	自分は、あいさつ・礼儀・服装・言葉遣いなどのマナーを身につけている。	98%	65%	33%	2%	0%
	9	2 健康教育・安全教育の推進 本校は、いじめ防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている。	86%	40%	46%	12%	2%
	10	本校は、生徒の悩みに対して、適切に相談に応じている。	88%	42%	46%	10%	2%
	11	3 進路意識の高揚と進路希望実現 本校は、進路について考えるための取り組みを積極的に行っている。	97%	56%	40%	3%	1%
	12	自分は、将来について積極的に考え、目標に向けて努力している。	89%	48%	41%	10%	1%
III 各種活動の活性化	13	1 部活動の奨励 本校は、部活動が活発に行われている。	98%	71%	27%	2%	0%
	14	2 生徒会活動の活性化 本校は、生徒会活動（あいさつ運動、体育祭、文化祭など）が活発に行われている。	97%	72%	25%	2%	1%
IV 地域との連携推進	15	2 地域行事等への参加・協力 本校は、地域や関連機関と連携した教育活動が展開されている。	90%	44%	46%	9%	1%
その他	16	その他 自分は、充実した学校生活を送ることができている。	92%	54%	38%	5%	3%
	17	その他 自分は、本校に入学してよかった。	89%	44%	45%	8%	3%

令和4年度須賀創英館川高校 学校評価調査結果 一保護者一

重点事項	No	評価項目	プラスの評価	4	3	2	1
				よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
I 学ぶ意欲の向上	1	2 保護者との連携・協力 本校は、教育活動について、ホームページやメール、学年便りなどで家庭に情報発信を積極的に行っている。	87%	26%	61%	12%	1%
	2	3 個別の学習指導課外等の充実 本校は、学習に対する個別指導や課外が充実している。	83%	18%	66%	15%	1%
	3	お子様が家庭学習によく取り組むよう、親としてアドバイスしている。	63%	11%	52%	33%	4%
II 生徒指導の充実	4	1 自己指導能力の育成 本校は、生徒に生活の規律を守る態度を育てようとしている。	92%	29%	63%	7%	1%
	5	お子様にあいさつ・礼儀・服装・言葉遣いなどのマナーが身につくよう、親として指導している。	97%	37%	60%	3%	1%
	6	2 健康教育・安全教育の推進 本校は、いじめ防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている。	68%	12%	56%	27%	5%
	7	本校は、生徒の悩みに対して、適切に相談に応じている。	71%	14%	57%	26%	3%
	8	3 進路意識の高揚と進路希望実現 本校は、進路について考えるための取り組みを積極的に行っている。	89%	29%	59%	10%	1%
	9	お子様が将来について積極的に考え、目標に向けて努力できるよう、親としてアドバイスしている。	89%	26%	62%	11%	1%
III 各種活動の活性化	10	1 部活動の奨励 本校は、部活動が活発に行われている。	93%	43%	50%	6%	1%
	11	2 生徒会活動の活性化 本校は、生徒会活動（あいさつ運動、体育祭、文化祭など）が活発に行われている。	94%	40%	53%	6%	1%
IV 地域との連携推進	12	2 地域行事等への参加・協力 本校は、地域や関連機関と連携した教育活動が展開されている。	86%	25%	61%	13%	1%
その他	13	その他 お子様は、充実した学校生活を送ることができている。	92%	41%	51%	7%	1%
	14	その他 自分の子どもを本校に入学させてよかった。	92%	43%	48%	7%	1%

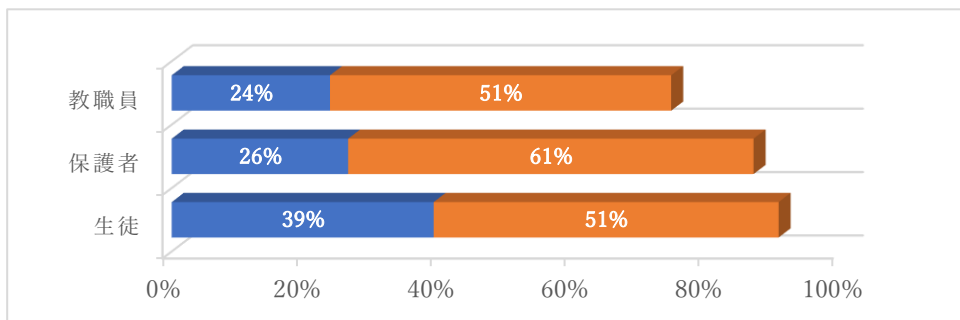
○凡例と集計方法について

■ 「よく当てはまる」 ■ 「やや当てはまる」

集計結果は、百分率で表示しています。グラフ中の数字は小数第 1 位を四捨五入しています。

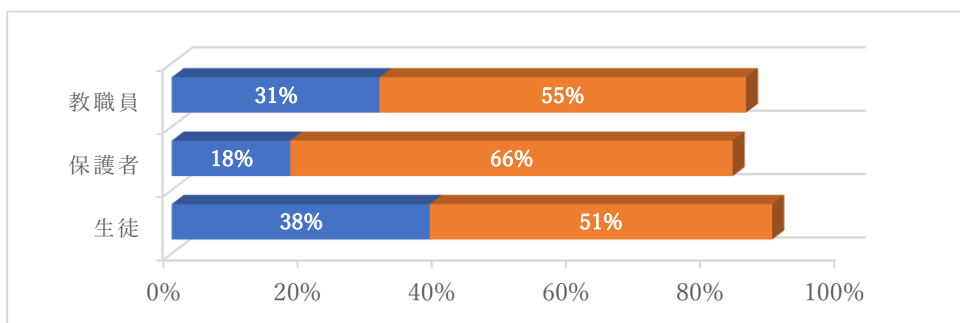
○三者比較

1 本校は、教育活動について、ホームページやメール、学年便りなどで家庭に情報発信を積極的に行っている。



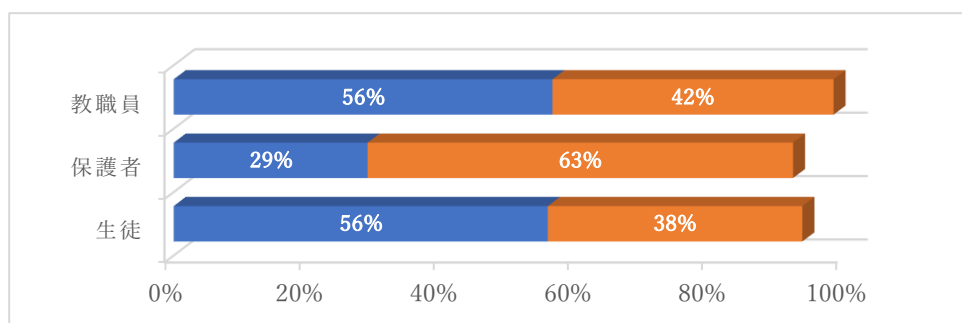
本校では、保護者との連絡を確立する手段として、今年度から連絡用アプリを導入しました。特にコロナ禍においてその重要性はますます高まっており、活用も進んでいます。一方、ホームページを用いた情報発信についてはまだまだ改善の余地があります。今後は掲載手続きを簡便にするなどして積極的な情報発信に努めてまいります。

2 本校は、学習に対する個別指導や課外が充実している。



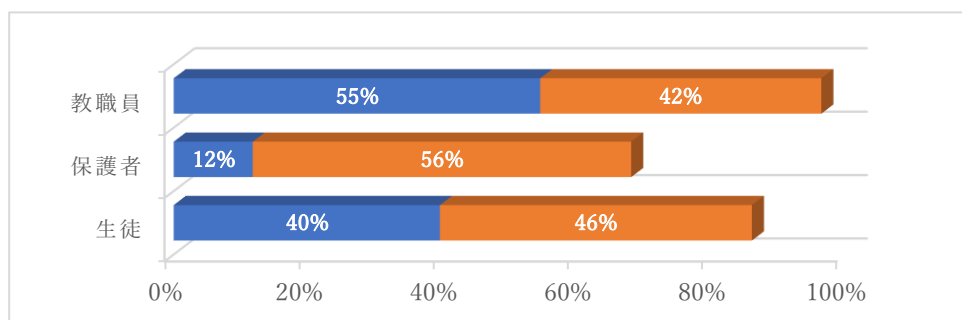
本校では、夏季・冬季・春季課外、検定課外を年間計画に位置づけ、子どもたちの学力向上、検定試験合格に取り組んでいます。またこれらに加え、平常課外、面接指導、添削指導なども適宜実施しているところですが、その中身や手立てについては、今年度の反省点を踏まえ、改善する余地があります。今後も、生徒が進路希望を実現できるよう支援してまいります。

### 3 本校は、生徒に生活の規律を守る態度を育てようとしている。



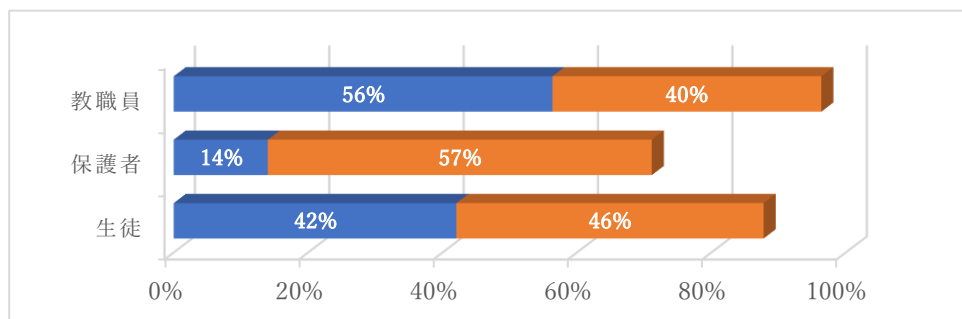
本校では、基本的な生活習慣の確立に向け、欠席・遅刻指導、あいさつ指導、ルールを守る指導を行っています。いずれも、基本的な生活習慣を身につけないまま社会でることのないよう、子どもたちの幸せを願って行うものです。基本的な生活習慣の確立はご家庭での取り組みが基礎となります。引き続きご家庭でもお子様への指導をよろしくお願いいたします。

### 4 本校は、いじめ防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に行っている。



教職員、生徒は概ね高い割合を占めていますが、保護者との間に「認識のずれ」が見られました。取組をどのようにして保護者へ伝えていくか課題がみられます。大人の目が届かないところで行われることもいじめの特徴といえます。いじめの目を早期に摘み取るために、アンケートの複数回実施や教育相談しやすい環境づくりに取り組み、今後もいじめの未然防止と早期対応に努めてまいります。

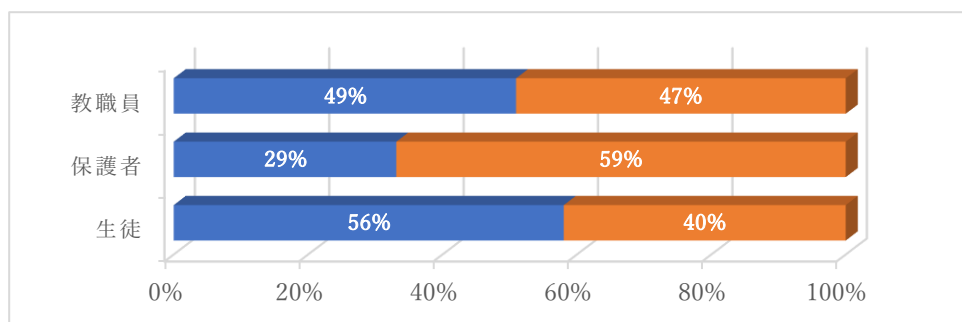
### 5 本校は、生徒の悩みに対して、適切に相談に応じている。



教職員、生徒は概ね高い割合を占めていますが、保護者との間に「認識のずれ」が見られます。対応をどのようにして保護者へ伝えていくか課題がみられます。保護者としては、定期的な教育相談やアンケートの他に、日々の生活で生徒一人ひとりの話をよく聞いて、教師が丁寧に対応することを求めていると考えます。約3割の保護者否定的な評価であることを真

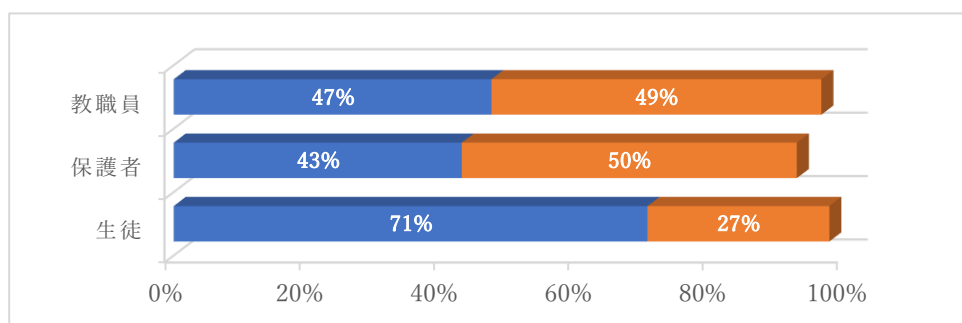
摯に受け止め、今後も生徒一人ひとりの心の居場所作りに努めてまいります。

## 6 本校は、進路について考えるための取り組みを積極的に行っている。



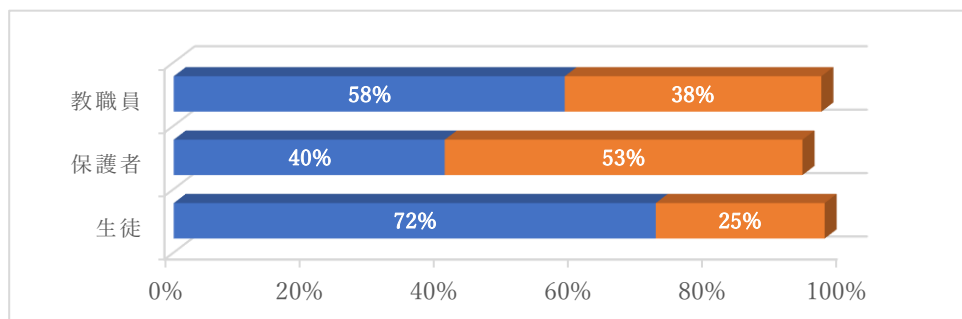
教職員、生徒、保護者とも高い評価を得ました。総合的な探究の時間、校内外の進路ガイダンスや個別面談等を通して、子どもたちの進路選択の機会を設けてきました。今後も、進路実現の取り組みについて分析し、改善を講じていきます。

## 7 本校は、部活動が活発に行われている。



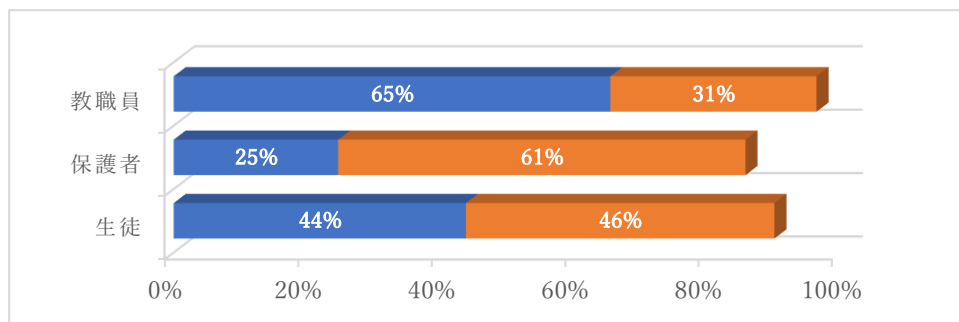
令和4年度4月当初の部活動の加入率は、全学年合わせて88%でした。部活動は、学校教育活動の一環として行われており、生徒によって自主的に組織されています。今後も、より高い水準の技能や記録に挑戦する中で豊かな学校生活を経験する活動として、部活動を奨励してまいります。

## 8 本校は、生徒会活動（あいさつ運動、体育祭、文化祭など）が活発に行われている。



コロナ禍の影響で、芸術鑑賞教室や体育祭、遠足・修学旅行など制限がある中での実施となりました。そのような中で、子どもたちは工夫し行事等に積極的に参加していました。学級、学年、学校全体の一体感も生まれました。コロナ禍だからこそ、子どもたちの成長には、学級活動や学校行事は欠かせないものであるとの思いを強くしました。

9 本校は、地域や関連機関と連携した教育活動が展開されている。

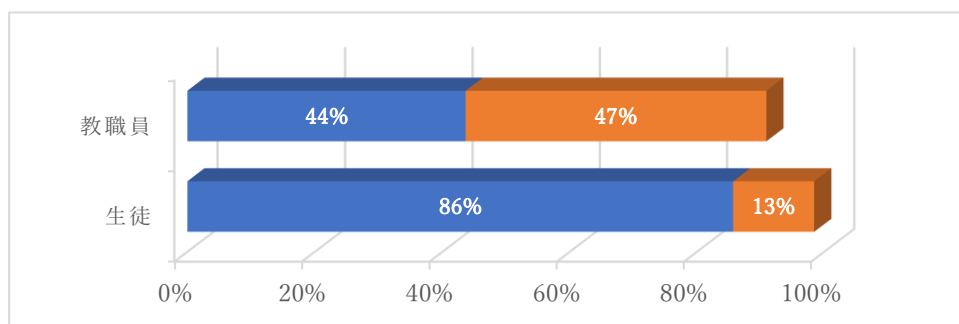


コロナ禍の中、「学校の新しい生活様式」を基準に「子どもたちの安全・安心」を守りながら教育活動の充実を図ってきました。今年度は、長沼まつりや須賀川の松明あかしなどの地域行事、須賀川駅周辺地区まちづくりワークショップ活動や円谷幸吉メモリアルマラソン活動に参加することができました。これらを通して、子どもたちは地域に関わることの大切さを学ぶことができたようです。

○自己評価

1 (教員) 自分は、チャイムではじまる授業ができている。

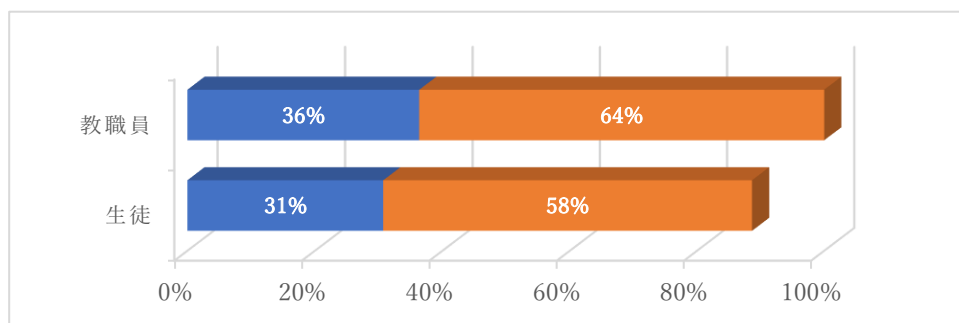
(生徒) 自分は、授業の開始時刻には遅れずに着席している



教職員、生徒いずれも高い評価となりました。今後もチャイム to チャイム、完全授業の実施に努めてまいります。

2 (教員) 自分は、生徒の興味や関心がわくように授業を工夫している。

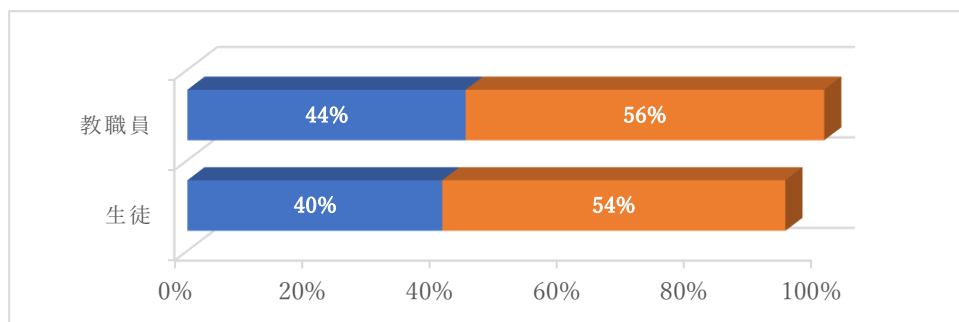
(生徒) 先生の授業は、生徒の興味や関心がわくように工夫されている。



ある程度高い水準を保っているものの、生徒と教職員の間には多少のギャップが見られました。この結果を真摯に受け止め、課題設定の工夫やまとめの時間の充実を図り、生徒の興味や関心がわく授業の工夫・改善を図ってきたいと思えます。

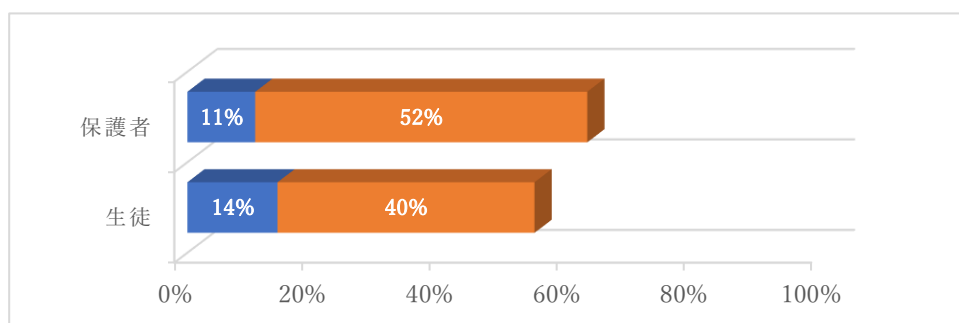


- 3 (教員) 先生は、分かりやすい授業を実践し、丁寧に指導してくれる。  
 (生徒) 自分は、分かりやすい授業を実践し、丁寧に指導している。



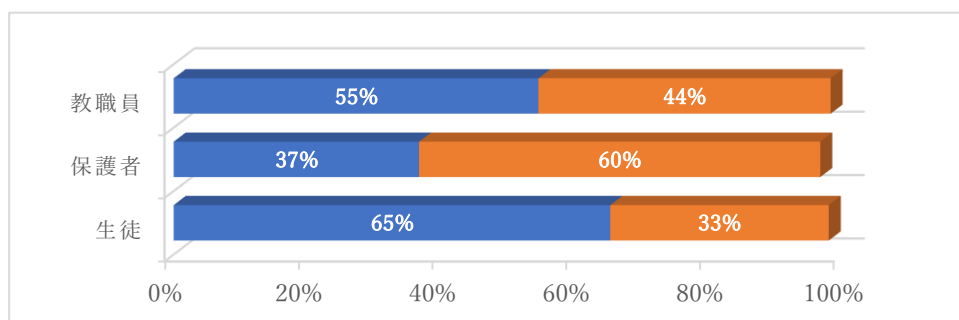
ある程度高い水準を保っているものの、生徒と教職員の間に多少のギャップが見られました。この結果を真摯に受け止め、授業に言語活動を取り入れるなどして、主体的な学びの充実を図り、わかりやすい授業の工夫・改善につなげていきます。

- 4 (教員) お子様は家庭学習によく取り組むよう、親としてアドバイスしている。  
 (生徒) 自分は、家庭学習によく取り組んでいる。



家庭学習の取り組みに消極的な生徒の割合が45%を超えています。高校になると学習内容も難しくなります。日々の家庭学習をおろそかにすると、学校の授業について行けなくなる可能性が高くなります。お子様の高校生活を有意義なものとするためにも、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。

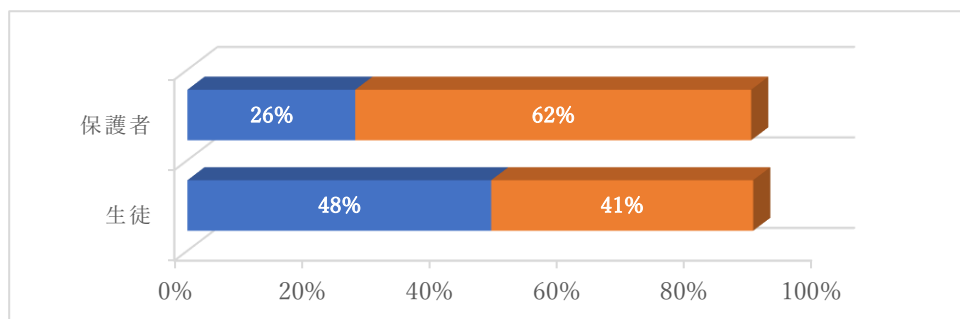
- 5 (教員) 本校は、生徒にあいさつ・礼儀・服装・言葉遣いなどのマナーが身につくよう指導している。  
 (保護者) お子様にあいさつ・礼儀・服装・言葉遣いなどのマナーが身につくよう、親として指導している。  
 (生徒) 自分は、あいさつ・礼儀・服装・言葉遣いなどのマナーを身につけている。



教職員、生徒、保護者とも割合はかなり高い傾向にあります。学校では、生徒会役員、教職員による朝のあいさつ運動や日々の声かけなど、学校生活をとおして、挨拶、礼儀、服装、

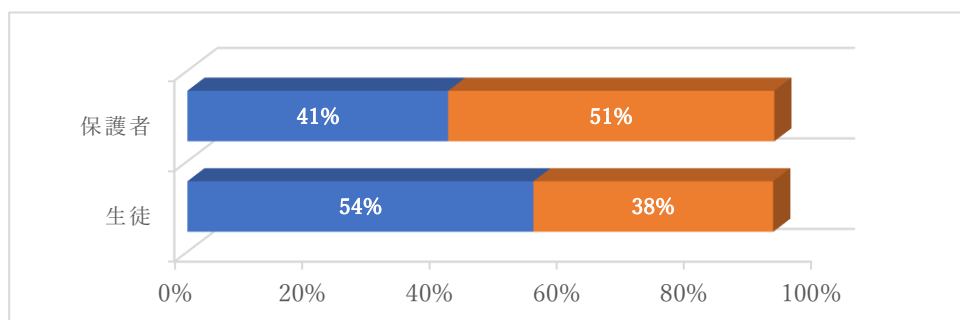
言葉遣い等について指導しておりますが、最終的にはご家庭での躰がととても大切になります。引き続きご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。

6 (保護者) お子様が将来について積極的に考え、目標に向けて努力できるよう、親としてアドバイスしている。  
(生徒) 自分は、将来について積極的に考え、目標に向けて努力している。

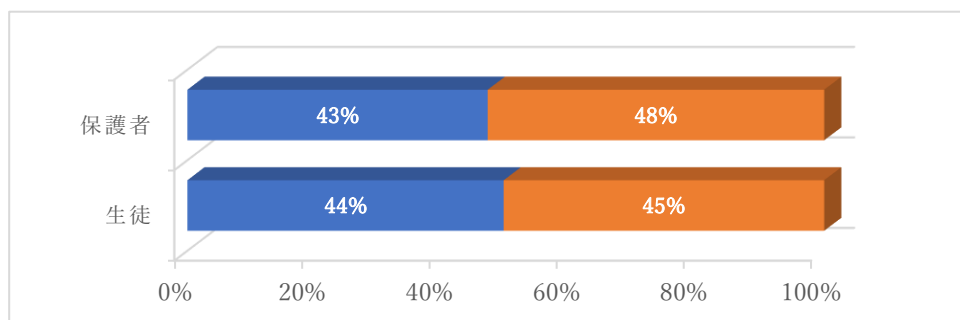


生徒、保護者とも高い水準は保っているものの、約 10%の生徒、保護者は否定的な評価となっております。ぜひこの機会にご家庭でもお子様と進路について話し合い、意識付けをしてみてください。本校としても、この結果を真摯に受け止め、生徒が自分の夢に向き合える機会の提供に努めていきます。

7 (保護者) お子様は、充実した学校生活を送ることができている。  
(生徒) 自分は、充実した学校生活を送ることができている。



8 (保護者) 自分の子どもを本校に入学させてよかった。  
(生徒) 自分は、本校に入学してよかった。



【分析】今後も、生徒にとって充実した学校生活を送れるよう、そして本校に入学して良かったと思えるよう、学校としてサポートしてまいります。